

お知らせ



シトロエン C3 AIRCROSS において、1.5 リッターディーゼルエンジンが追加されたため、取扱説明書に以下のように追記させていただきます。

車をご使用いただく前に（2ページ）

●ディーゼル車について

AdBlue® の残量がなくなった場合、エンジンを始動できなくなります。AdBlue® の補充は早めにシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

安全なドライブについて（iii ページ）

燃料補給時の注意

指定以外の燃料を使用しないでください

- ・ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm 以下）を給油してください。
- ・ディーゼル車にガソリンや灯油を給油すると、エンジンなどに悪影響を与えますので使用しないでください。
- ・ディーゼル車に指定以外の軽油を補給すると、白煙が発生し続けることがあります。また、DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）の故障につながるおそれがあります。

使用燃料について（第 1 章 1-29 ページ）

ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm 以下）を使用してください。

注 意

ディーゼル車にガソリンや灯油を使用しますと、エンジン・触媒装置などに悪影響を与えるので、絶対に使用しないでください。

●ディーゼル車の燃料について

軽油は外気温が低温になると凍結してしまい、燃料配管の詰まりなどの故障の原因となります。寒冷地へ行くときは、現地へ到着するまでに燃料残量を半分以上にし、現地ですできるだけ早く寒冷地用の燃料を補給してください。

使用燃料	使用限界温度の目安
JIS 特 1 号軽油	-
JIS 1 号軽油	-1℃
JIS 2 号軽油	-5℃
JIS 3 号軽油	-12℃
JIS 特 3 号軽油	-19℃

触媒コンバーター（第 1 章 1-32 ページ）

●触媒コンバーター装着車についてのご注意

ディーゼル車には指定の軽油を使用してください。指定以外の燃料は触媒を傷めます。

エンジンの始動 (9 ページ、第 3 章 3-2 ページ、3-3 ページ)

●エンジンの始動／エンジンの緊急始動



ディーゼル車は、ブレーキペダルを踏みながら
ENGINE START/STOP スイッチを押したあと、予熱
表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

SCR（選択式還元触媒）システム

シトロエン C3 Aircross は SCR（選択式還元触媒）システムと DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）を採用しています。

SCR は、AdBlue® を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。



- AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue® の補充は早めに行ってください。AdBlue® の補充は、シトロエン指定サービス工場にお申し付けください。
- SCR に異常が発生したまま走行を続けるとエンジンを始動できなくなります。シトロエン指定サービス工場での点検を受けてください。

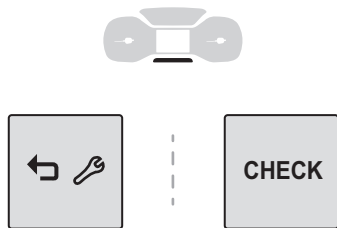
● 走行可能距離の表示

AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。走行可能距離が 2400km 以内の場合、イグニッションをオンにすると、警告音とともに警告灯が点灯／点滅し、エンジンを始動できなくなるまでの走行可能距離をお知らせするメッセージを表示します。

警告灯	走行可能距離	対処方法
	800km から 2400km	AdBlue® の残量が少なくなっています。 早めにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
AdBlue または 	100km から 800km	AdBlue® の残量がわずかになっています。 すみやかにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。

警告灯	走行可能距離	対処方法
	100km 以内	AdBlue® の残量がわずかになっています。 AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。直ちにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
	0km	AdBlue® の残量がなくなったため、エンジンを始動できません。シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

● 走行可能距離の確認



インストルメントパネルのリセットボタンを押すと走行可能距離を再表示させることができます。



走行可能距離が 2400km 以上の場合は、イグニッションをオンにしても走行可能距離は表示されません。走行可能距離は、インストルメントパネルのリセットボタンを押すと表示させることができます。

● SCR システムの異常

SCR システムに異常が発生したら、次のような警告が表示されます。

警告が続けて表示される場合は、直ちにシトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

そのまま走行を続けると、約 1100km 走行したあとは、エンジンを停止すると、再始動できなくなります。

SCR システムに異常がある場合



SCR システムに異常が発生した場合は、警告音とともに **AdBlue®** 警告灯および自動診断警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。



一時的に警告が表示されることがありますが、その後、警告灯が消灯すれば SCR システムの異常は解消されています。SCR システムの異常が解消されない場合は、エンジンを始動する度に警告が表示されます。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

SCR システムの異常により、走行可能距離が1100km 以内になった場合



SCR システムに異常が発生したあと、異常が解消されないまま約 50km 走行すると、警告音とともに **AdBlue®** 警告灯が点滅、自動診断警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

この警告が表示されると、走行可能距離は約 1100km 以内です。そのまま走行を続けると、約 1100km 走行したあとは、エンジンを停止すると、再始動できなくなります。直ちにシトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。



SCR システムの異常が解消されない場合は、走行中は、30 秒ごとにメッセージが表示されます。
また、エンジンを始動する度に警告が表示されます。

SCR システムの異常によりエンジンを始動できなくなった場合



イグニッションをオンにすると、警告音とともに **AdBlue®** 警告灯が点滅、自動診断警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。SCR システムの異常によりエンジンを始動できません。シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）

DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）は排気ガス中に含まれるススを捕集し、燃焼（再生）処理します。捕集したススが一定量堆積し、警告が表示されると、時速 60km 以上の速度で走行し、堆積したススを燃焼（再生）処理することが必要です。

注 意

DPF の故障を防ぐため、次のことをお守りください。

- ススが一定量堆積し、警告が表示されたまま長時間走行しないでください。
- 指定以外の燃料を補給しないでください。
- 指定以外のエンジンオイルを使用しないでください。

●ススの燃焼（再生）処理



DPF にススが一定量堆積すると、この警告灯または **SERVICE** 警告灯が一時的に点灯し、メッセージが表示されます（警告音がする場合があります）。

警告が表示されたら、道路状況を見て、すみやかに時速 60km 以上で走行してください。ススの燃焼（再生）処理が行われます。燃焼（再生）処理が終了すると、警告灯が消灯します。



警告音とともにこの警告灯または **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたら、すみやかにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。



- 時速 60km 以上の速度でしばらく走行しても警告灯が消灯しない場合はシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
- ご購入いただいてから最初の燃焼（再生）処理中は、焦げたような臭いがすることがありますが、異常ではありません。
- 長時間の低速走行後やアイドリング運転後の発進や加速時に、排気管から白い煙（水蒸気）が出ることがありますが、異常ではありません。

警告灯類／表示灯類（第 4 章 4-8 ページ）

●黄色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	SERVICE	点灯（サービスインジケータのスパナマークが点滅し、その後点灯）	定期点検整備時期を経過しています。	直ちにシトロエン指定サービス工場で定期点検整備を受けてください。
	AdBlue®	点灯（一時的）／メッセージ	AdBlue® の残量が少なくなっています。 走行可能距離は 800km から 2400km です。	早めにシトロエン指定サービス工場 で AdBlue® の補充をしてください。
		点灯または点滅／警告音／メッセージ	AdBlue® の残量がわずかになっています。 走行可能距離は 100km から 800km です。	すみやかにシトロエン指定サービス工場 で AdBlue® の補充をしてください。
		点滅／警告音／メッセージ	AdBlue® の残量がわずかになっています。 走行可能距離は 100km 以内です。	直ちにシトロエン指定サービス工場 で AdBlue® の補充をしてください。
			AdBlue® の残量がなくなりました。 エンジンを始動できません。	シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
 	SCR システム	点灯／警告音／ メッセージ (自動診断警告灯も 点灯)	SCR システムに異常が発生しています。	一時的に警告が表示されることがありますが、その後、警告灯が消灯すれば SCR システムの異常は解消されています。 SCR システムの異常が解消されない場合は、エンジンを始動する度に警告が表示されます。シトロエン指定サービス工場でのシステムの点検を受けてください。
		点滅／警告音／ メッセージ (自動診断警告灯も 点灯)	SCR システムに異常が発生しています。 走行可能距離は 1100km 以内です。	直ちにシトロエン指定サービス工場でのシステムの点検を受けてください。
			SCR システムの異常によりエンジンを始動できません。	シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	予熱表示灯	点灯（一時的）	ENGINE START/STOP スイッチを押しました。	予熱表示灯が消灯したら、ブレーキペダルを踏んでいるときにエンジンが始動します。
				予熱表示灯の点灯時間は、気温によって変化します（最長約 30 秒）。 エンジンがかからないときは、イグニッションをオフにし、再度エンジン始動の操作を行い、予熱表示灯が消灯するのを待ってください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	燃料フィルター	点灯	燃料フィルターに水が溜まっています。	燃料噴射システムが損傷するおそれがあります。直ちにシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
 または 	DPF (ディーゼル パティキュレート フィルター)	点灯（一時的）／ メッセージ (警告音がする場合 があります)	DPF（ディーゼルパティキュレート フィルター）にススが一定量堆積しま した。	道路状況を見て、すみやかに時速 60km 以上 で走行してください。ススの燃焼（再生）処理 が行われます。燃焼（再生）処理が終了すると、 警告灯が消灯します。
		点灯／警告音／ メッセージ	DPF（ディーゼルパティキュレート フィルター）の点検が必要です。	すみやかにシトロエン指定サービス工場で点検 を受けてください。

サービスインジケーター（第 4 章 4-17 ページ）

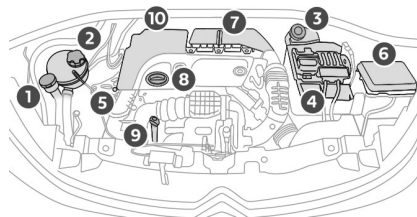
● サービスインジケーター表示一覧

表示	状態	意味
 	点滅後に点灯 (SERVICE 警告灯も点灯)	点検時期を経過したことを示しています。 点検時期を経過してからのおよその走行距離や点検時期を経過したことをお知らせするメッセージ（両方またはどちらか一方）が表示されます。

マニュアルチェック (第4章 4-20 ページ)

ディーゼル車は、イグニッションをオンにすると、インストルメントパネルにサービスインジケーターなどの情報に加え、走行可能距離も表示されます。

エンジンルームの点検 (第6章 6-3 ページ)



- ①：ウィンドウウォッシャー液タンク
- ②：クーラント（冷却水）タンク
- ③：ブレーキフルードタンク
- ④：12V バッテリー
- ⑤：アースポイント（－）
- ⑥：ヒューズボックス
- ⑦：エアフィルター
- ⑧：エンジンオイル注入口
- ⑨：エンジンオイルレベルゲージ

⚠ 警告

ディーゼルエンジンは高圧の燃料噴射装置を採用しています。
点検や整備はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

●燃料フィルター

交換頻度は、この追補版の「推奨交換時期」をご覧ください。
交換する燃料フィルターは、シトロエンの純正部品をご使用ください。

●AdBlue[®] の補充

補充頻度は、この追補版の「推奨交換時期」をご覧ください。
ただし、運転の状況により消費の度合いが変わります。また、AdBlue[®] 警告が表示されたら、シトロエン指定サービス工場で補充をしてください。
AdBlue[®] の残量がなくなると、エンジンを始動できなくなります。

推奨交換時期（第 6 章 6-14 ページ）

燃料フィルター	4 年または 20,000km ごと
---------	--------------------

●AdBlue[®] の補充頻度について

AdBlue[®] の補充は、1 年または 10,000km ごとにシトロエン指定サービス工場で行ってください。

AdBlue[®]（尿素水）の補充

シトロエン C3 AIRCROSS は AdBlue[®] を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。AdBlue[®] は走行すると消費され、減少します。

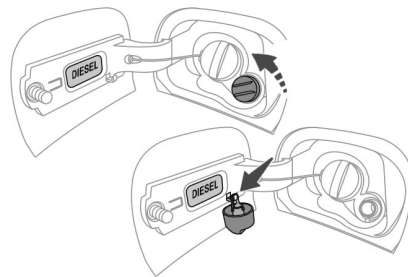
AdBlue[®] の補充は、シトロエン指定サービス工場にお申し付けください。



- AdBlue[®] の補充は、シトロエン指定サービス工場での定期点検整備ごとに行われます。
- AdBlue[®] の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue[®] の補充は早めに行ってください。
- AdBlue[®]（アドブルー）はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

● 緊急時にお客様がご自分で AdBlue[®] を補充する

AdBlue[®] の残量がなくなり、エンジンが始動できなくなったときは、約 10.0 リットル以上の AdBlue[®] を補充すると、エンジンを始動できるようになります。



1. 平坦な路面で安全な場所に車を停めます。
2. エンジンを停止します。
3. 給油フラップを開けます。
4. 青色のキャップをゆるめます。
5. 青色のキャップを取りはずします。
6. はずした青色のキャップは、フラップの内側にあるフックに引っかけておきます。
7. 補充が終わったら、青色のキャップを締めて戻します。

注 意

ガソリンスタンドなどに設置されている補充装置を使用しないでください。AdBlue[®] が補充口からあふれるおそれがあります。

⚠ 注意

AdBlue® は、無色、透明、無臭で、身体に触れても無害の尿素水溶液です。

万一目に入ったり、皮膚に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。違和感がある場合は、すぐに医師の診断を受けてください。

また、誤って飲み込んでしまったときは、コップ 1～2 杯の水または牛乳を飲み、すぐに医師の診断を受けてください。



●AdBlue® の残量がなくなった場合は、AdBlue® の補充後、以下の操作を行ってください。

1. 5 分以上待ちます。その間、以下の操作は行わないでください。

- 解錠する
- 運転席ドアを開ける
- 車内にスマートキーを持ち込む

2. ブレーキペダルを踏まずに **ENGINE START/STOP** スイッチを押し、イグニッションをオンにして 10 秒以上待ちます。

3. エンジンを始動します。

●AdBlue® の補充後は、エンジンの始動に通常よりも数秒間長くなる場合があります。

●AdBlue® は ISO 規格 (ISO 22241-1) に準拠したものを使用してください。

●AdBlue® タンクの容量は約 17 リットルです。

●AdBlue® は凍結しても、解凍すればそのまま使用できます。

●使用済みの AdBlue® の容器は、地域条例に従って廃棄してください。

注意

●AdBlue® を補充するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷するおそれがあります。

- AdBlue® 以外の尿素水を使用しないでください。
- AdBlue® を水道水などで希釈しないでください。
- AdBlue® を他の薬品と混ぜたりしないでください。
- AdBlue® が車両の塗装面に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

●AdBlue® を保管するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷したり、AdBlue® の成分が変質して刺激臭が発生するおそれがあります。

- AdBlue® を車内に放置しないでください。
- AdBlue® を指定以外の容器で保管しないでください。
- AdBlue® は容器を密閉し、直射日光の当たらない風通しの良い、気温が 25℃ を超えない場所に保管してください。

燃料切れしたとき

燃料を補給後、次の操作を行い、燃料系統のエア抜きをしてください。

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. シフトポジションが **P** になっていることを確認します。
3. ブレーキペダルを踏まずに **ENGINE START/STOP** スイッチを押し、イグニッションをオンにします。
4. 約 1 分間待って、イグニッションをオフにします。
5. エンジンを始動します。



- エア抜きを行う前に、少なくとも 5 リットル以上の燃料を補給してください。
- エンジンが始動しないときは、イグニッションをオフにし、再度エア抜きをしてください。
- エア抜きの操作を繰り返してもエンジンが始動しないときは、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

